

歯科診療補助法

講 師	星 野 菜 緒 堀 花 菜 子	実施時期 単 位 数	第 2 学年前・後期 2 単位 （80 時間）	実務経験	○
一般目標（GIO）	専門的な歯科診療の補助に対応するため、必要な知識、技術を身につける。				
授 業 概 要	歯科衛生士の三大業務のひとつである歯科診療補助についてその内容を理解し、患者への配慮をしながら、診療の流れに沿ってスムーズに補助できる手技を身につける。				
学 習 方 法	講義・実習				
成績評価の方法	前期は定期試験をおおよそ80%、残り20%は課題、授業態度、出席状況等を総合し評価する。 後期は定期試験をおおよそ50%、40%は実技試験、10%は課題、授業態度、出席状況を総合し評価する。				
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会（監） 歯科衛生学シリーズ 「歯科診療補助論 第2版」「歯科材料」「歯科機器」 医歯薬出版 その他臨床系教本				
履修上の注意	他教科との関連も含め、幅広い知識が必要となる科目であり、使用する器具や材料も数多いものである。 それらを理解・習熟する為に予習・復習を欠かさず積極的に取り組む姿勢で臨んでほしい。				
参 考 書	江澤庸博著 新人歯科衛生士・歯科助手ポケットマニュアル第2版 医歯薬出版				
教員の職務経験 (科目との関連性)	歯科医院での勤務経験を活かして診療補助業務について講義・実習を行う。				

授業計画

No.	授業項目	到達目標（SB0s）
1	医療安全と感染予防【講義】	標準予防策を述べられる。 感染リスクとその対策について説明できる。
2 3	医療安全と感染予防	感染予防策について討議できる。 バリアテクニックを実施できる。 バリアテクニックを評価できる。
4 5	印象法・直接法による暫間被覆冠作製 (単冠)	作製法を説明できる。 歯牙形態を顎模型と対比できる。 作製時間に配慮できる。 安全に配慮できる。
6 7	歯科材料復習(セメント・仮封材)	目的(合着・仮着)に応じたセメントを選択できる。 セメントに応じた器材を選択できる。 硬化時間・練和法を熟知した操作ができる。 仮封材の種類を列挙できる。 窩洞形成歯への仮封操作ができる。 安全に配慮できる。
8 9	ワックス法による暫間被覆冠作製 (単冠)(ブリッジ)	作製法を説明できる。 歯牙形態を顎模型と対比できる。 作製時間に配慮できる。 安全に配慮できる。
10 11	歯科材料の取り扱い (裏層・覆髄・根管充填材)	歯髄保護(裏層・覆髄)について説明できる。 材料の特性を列挙できる。 根管充填材の所要性質を説明できる。 根管充填材の取り扱いができる。
12	対象者に応じた患者対応【講義】	小児、妊産婦、高齢者、障害者、感染症患者における歯科診療補助の特徴を説明できる。 各対象者の特徴および留意点を説明できる。
13 14	状況設定実習① 保存分野 直接修復法(光重合レジン・セメント充填)	術式を説明できる。 手順に沿った器具、器材を準備できる。 ラバーダム防湿・隔壁が実施できる。 妊産婦を想定した患者対応ができる。
15 16	ラバーダム防湿	手順を述べることができる。 使用器具と用途を述べることができる。 対象歯に応じた器具の操作ができる。 小児を想定した患者対応ができる。
17 18	ラバーダム防湿【相互実習】	歯牙に適合するクランプの選択ができる。 対象歯に応じた器具の取り扱いができる。 多数歯露出を行うことができる。 安全に配慮できる。
19 20	歯科材料復習(各種印象材)	操作時間を熟知した取り扱いができる。 連合印象時の共同動作が実施できる。 印象体の評価ができる。
21 22	状況設定実習② 保存分野 間接修復法(インレー修復)	術式を説明できる。 手順に沿った器具、器材を準備できる。 安全に配慮した歯肉圧排が実施できる。 連合印象の補助ができる。
23 24	既製冠・直接法による暫間被覆冠作製実習 (ポストTeC)(ブリッジ)	適切な量を準備できる。 マージン部分を記すことができる。 形態を調整することができる。 時間内に作製することができる。
25 26	状況設定実習③ 補綴分野 クラウン・ブリッジ(前歯部前装冠)	術式を説明できる。 手順に沿った器具、器材を準備できる。 暫間被覆冠を時間内に作製できる。 円滑な補助業務ができる。
27 28	直接法による暫間被覆冠作製実習 (ブリッジ)(単冠:復習)	適切な量を準備できる。 マージン部分を記すことができる。 形態を調整することができる。 時間内に作製することができる。
29 30	状況設定実習④ 口腔外科分野 (普通抜歯・難抜歯)	術式を説明できる。 手順に沿った器具、器材を準備できる。 部位に応じた抜歯鉗子を選択できる。 安全に配慮できる。
31 32	状況設定実習⑤ 歯周外科分野 (フラップ手術)	術式を説明できる。 手順に沿った器具、器材を準備できる。 歯周パックの取り扱いができる。 安全に配慮できる。
33 34	状況設定実習⑥ 歯内療法分野 (麻酔抜髄・根管充填)	術式を説明できる。 必要な器具の特徴、用途を理解する。 手順に沿った器具、器材を準備できる。 綿栓を準備することができる。
35 40	まとめ(復習) 歯科材料・状況設定実習 他	歯科器材の円滑な取り扱いができる。 臨床実習に向け、手技を確実なものにできる。